

CT造影剤使用の説明書・同意書

1. 造影剤による合併症(以下、有害事象)

今回実施する検査は“ヨード造影剤”(以下「造影剤」という薬剤を注射して行う予定です。
CT検査は造影剤を使用しなくても検査は行えますが、造影剤を用いることで、より詳細で精度の良い診断が可能となります。
ヨード造影剤は安全な薬剤ですが、稀に有害事象が起こることもあります。有害事象は次の様なものです。

① 造影剤による副作用

i) 急性副作用:検査中や検査直後の早い時期におこる副作用

[軽症] 吐き気、嘔吐、蕁麻疹、発疹など(100人～200人に1人で1～2%です)
副作用の多くは一時的なものでそれほど心配はいりませんが、投薬、注射で回復させる場合もあります。

[重症] 血圧低下、呼吸困難、意識消失など(1万人～2万人に1人で0.01～0.02%です)
この場合は点滴、昇圧剤、抗アレルギー薬などの治療が必要です。
きわめて稀ですが、病状・体質によっては、死亡に至る場合もあります。

ii) 遅発性副作用:検査数時間から1週間後くらいにおこる副作用

発疹などの症状が出る場合がありますが、多くは軽症の副作用です。

② 造影剤の漏れ

急速に注入する為、血管外(皮下)に漏れる場合があります。この場合、注射部位が腫れて痛みを感じる場合がありますので、異常を感じたときは直ちにお知らせください。一般的には数日以内に吸収されますが、極めて稀に手の痺れや皮膚の変色を伴うことがあり、その場合は別の処置が必要になります。

2. CT造影剤の禁忌

- ①ヨードまたはヨード造影剤に過敏症の既往歴がある
- ②重篤な甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症)

3. CT造影剤使用時のリスク要因 (下記の病気をお持ちの方は主治医とご相談ください。)

- ①喘息②重篤な心障害、肝障害③腎機低下④マクログロブリン血症⑤多発性骨髄腫⑥テタニー⑦褐色細胞腫
- これらの病気をお持ちの方は、症状が悪化するなどの可能性があります。

4. CT造影剤との併用注意薬剤 (下記の薬剤使用の方は主治医とご相談ください。)

- ①ビグアナイド系糖尿病薬②β遮断薬③毒性を有する薬剤(抗腫瘍薬・抗菌薬)④IL-2(インターロイキン-2)

※ビグアナイド系の経口血糖降下剤を内服されている方は、検査当日と検査前後2日間、計5日間の内服中止が必要(ただし緊急検査の場合は主治医判断による)です。

5. 同意書の撤回について

患者又は代理人は、検査を受けることを同意した後、いかなる場合でも同意の撤回が出来ます。

CT造影剤使用の同意書

私は、造影剤の必要性和副作用について説明しました。

年 月 日

医師署名

私は、造影剤に関して、その必要性和副作用の可能性について説明を受けて理解しましたので、造影剤を使用することに同意します。また、万一副作用が現れた場合には必要な処置を受けることも承諾します。

承諾日 年 月 日

ご本人の署名

代理人署名

続柄()

※当院の判断で造影剤を使用しない場合もありますので、ご了承ください。